Director-Redactor-Chefe:
SHUHO NAKANISHI
Redacção: Av. Brig. Luiz Antonio, 26

NIPPON SHIMBUN

14 de Julho de 1932
N 26

日本新聞
Caixa Postal 2273
São Paulo

ブラジル・サンパウロ市
日本新聞社
編輯兼發行人 中西周甫

購讀料
一ケ年三〇ミル

代行機關の幹部人選問題

紫峰生

筆者は敢て代行機關とよぶこの「好意の押し賣り」は如何に人物拂底の邦人社會とはいへこれでは正に本末顚倒なる内容に至つては純然たるサンパウロ總領事館の代行機關にすぎぬ　二者の權能は全然獨立性なく何等の自由權限を有せず純然たる總領事館の權能の延長で卑近な語を以ていへば總領事の「操り人形」である　簡單に云へば總領事館でやつては其合がわるくさし障りが多いから便宜上こんなものを作り上げたものであり又親方によつては當然將來は獨立した機關とすべきものではあるが所謂滋育期のものだから在外官憲に於て世話をする必要がある獨り歩きの出來るまではこの方法をとつてゐるといふのである

過渡期の產物としてーーつきものゝ補助金を必要とするし目をはなされぬから干渉もすれば世話もやくといふのである　こゝが代行機關たる特性である　隨つて彼等はその幹部の人選に干渉する　即ち手盛りをやつてゐる　現在々留民の狀態が經濟的基調未だ貧弱なるため此等の機關を名實共に「吾等のもの」と稱し得ざる時代においては此の「手盛り」は獨立性に欠ぐる因緣上やむを得ざる成行としてもその人選に當りあまりに總領事館のために勝手のよい都合のよい人物を選定することは決して好ましからざることである

如何に代行機關とはいへ在留民を本位として人選することは當然である　然るに最近頗る不可解なる事實を筆者は聞知してゐる

父兄會の會長欠員のまゝにて二年をすぎし副會長に黑石清作氏か就任してゐる　然るに內山總領事は黑石氏がブラジルヒ報の社長ーー新聞人であるとのり由の下に今更の如く自由な立場において何等の索餌をうくることなく批判し得るやうにすると稱し好意の押賣りをして內命を下し副會長の椅子を去らしめんとした

は面白くないからやめれてくーーは完全にこの教育けん究會の一件で破壞されてゐる

二枚舌を使つた內山總領事は內命の下しばなしで更に後任がわるいから好意の選衝に會長に白鳥氏を副會長に矢崎氏をあげ　二氏の內諾を得ておきながら以來四ケ月未だに黑石氏に好意の押しうりむ不渡手形をだしばなしにしてゐる

新聞人たるが故に教育事業の幹部におけぬとはすこぶる不可解の言動である　要するに特に一人のみを撰任した事は人物がわるかつたが今更そうは云へぬから好意の押し賣りをしたにすぎないのだらう

更に如何に代行機關とはいへ吾等の邦人社會は人物拂底して居るのだたらうか

父兄會の首腦部にすへんとし側が之を承諾せば海關問題はてゐる　如何に人物拂底の邦人社會とはいへこれでは正に本末顚倒とプラ拓の專賣特許である

教育衝ふこそ植民社會の主要事業である　その基幹に一人に二役を仰付くる事は本職ある人に重荷であらねばならぬ　殊に在留民の內より一人土匪の横行に依り東支鐵道運行停止と共に此等ソビエツ

ト聯邦の製品輸入杜絕となりから約五日間奉仕の光榮に浴朝鮮海產物北滿進出に一大効する諸鍵を發て靈泉學校の徒大屋ヂョ妻は廿日ア　平たスギである

大連海關問題解決案成る

許さず

一、大連海關は形式上其の海關收入を全部南京政府の所得に歸す可きものとす　但支那政府は大連海關年收入から一千三百萬海關英國始め關係各國も之れを支持せんとしてゐる　依て外務省では該案は滿洲國側に提示滿洲國の經費として流用して納得せしめる筈で滿洲國の

一、支那政府は關本の罷免を取消す

名を捨て實を取らんとする該案はシナ政府も大体異議なく一ケ月五百ミルレースの外債担保分一千萬兩を負担し殘余を滿洲國の一般財政の援助に充てる

一、時間拂制度に於ては勞働者は勤勉に働く事に依つて何等特別の利益を受く可きものでないと考へる

二、出來高拂に於ても勞働者は賃金切下げを恐れて生產額を制限する故に殆んど同一の弊害は生ずる

此の故に氏は通常の出來高制度を改良し根本的賃金切り下げの弊を除かんとするものである

氏は管理者にして勞働者が全力を盡して一仕事を仕上げるのに幾何の時間を要するものであるかを正確に知る事を得れば賃金切下を行ふ必要がなくなると考へた

管理者は此の方法に依つて先づ適當な賃金率を定め勞働者が適當な賃金を得る爲めには一日中全力を以つてはたらく事を要するやうにすることが出來る　次に適當な收入を得る爲めには

大連海關攝收問題は目英其他關係各國及び南京政府との多邊的接衝の結果大体妥協案を得るに至り解決の兆候が見へて來た　即ち該案の骨子は

一、支那政府は大連を除く滿州各海關の攝收を放棄する　但し滿洲國はガボーテン其他に海關の設置を

朝鮮水產品の北滿進出

從來北滿で消費されてゐた海產物は殆んどソビエツト聯邦政府に依り獨占されてゐたが北滿進出を企て積極的に活動を初めてゐる

朝鮮水產品輸出組合その他同業團体ではこの機に大々的に朝鮮の朝鮮品はシ惑獨占の傾勢に刺戟されて朝鮮總督府同を呈するに至つた　此の情勢に

陸軍參議官會議

陸軍では六月廿九日午後二時より陸軍省で陸軍參議官會議を開き各軍事參議官出席し陸相より先般米國大統領より軍縮會議に提案された全軍備三分の一減問題に就て陸軍としては右問題は既に軍縮全權の豫想してゐたものだが　我が既定方針を變更するが如き事は絕對にない從つて之に對して特別に何等の處置を講ずる必要なる旨を說明し續いて滿洲の一般情勢を報告し二、三の質問應答あつて散會した

聖上陛下

滿洲事情ご聽講

金谷大將を召させられ天皇陛下には一日午後二時滿洲各地を視察して歸朝した軍事參議官　金谷大將をめされて　滿洲視察に就いての講話を約一時間御聽講あらせられ側近奉仕者にも陪聽差許された

皇后陛下

ご養育の靈土族

皇后陛下が新しく宮中紅葉山蠶養蠶所で御養育の掃量九匁の靈は此程見事に上蔟し瀧野川の東京靈糸學校に御下命製糸さるゝ事となつたが其の內一部分は特に皇后陛下が深き御けん究と親しく御休驗のため御養蠶所で製糸遊ばす事となり六月廿四日靈糸學校の優秀他總て負擔致し即ち全く無手數料にて負擔致し即ち人へ御送り屆け申上候金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶橫濱正金銀行勘定として

秩父宮

聯盟調査員をご招待

リットン卿以下聯盟調査委員一行は四日入京したが秩父宮同妃殿下には御歡迎御臨らうの思召から七日午後七時半一行を赤坂離宮に招され同夜は高松宮同妃殿下にも御出席晩餐會を催された

滿洲國使節

歸滿の途に就く

滿洲國使節六名は連日各方面から非常な歡迎を受けてゐるが廿九日は佛教處女會の案內で湘南方面をドライブして日本の海の美はしさを賞し午後三時半芝增上寺の歡迎大會に臨み午後六時三新ビルヂングの晩餐會に出て同日午後九時廿五分東京驛發列車で歸滿の途につく

滿洲獨立守備隊退營

滿洲事變勃發當初より多大の勳功をたてた昭和四年徵集の後備人營の獨立守備隊歩兵は一ケ月現役延期中だつたが愈々七月一日二ケ月猶豫の滯營期を終へ退營する事となつた

馬占山未だ死せず

黑龍江軍は六月廿四日午後海倫南下の馬占山軍に攻擊を開始した　馬軍は三隊に分れて潰走したが馬占山は尙ほ存一人で指揮してゐるかと見られて

爲替管理愈々嚴

母國送金は（一ケ月）一人百ミル

當國爲替管りの結果海外送金制限益々嚴密となり既に從來の自由送金限金度一人に付一ケ月五百ミルレースも其の認可を得る事は勿ろ困難なる狀態にありたるが當店は一般在伯邦人の蒙る影響に思を致し極力當局の了解を求むるに力め幸に今日迄該自由限度の送金は支障なく續行し來りたる處去る四日に至り送金限度を百ミルレースに制限勵行す可き旨の命令に接せり

右の制限は一般的にして當局に於ても最早再考の余地を存せず斯くて現下の情勢に於ては百ミルレースのそう金限度を以て　滿足する外なきに至れり　就ては今後本邦及び海外向そう金を希望せらるゝ向は一ケ月一人百ミルレースを限度とし其都度當方へ同額回金の上そう金方依頼する事とせられ向當方取扱の繁鎖及整の不便を省く爲め數ケ月分のそう金資金として一括そう金する事は可成避けらるゝ事を希望する次第なり

產業合理化

テーラーの科學的管理法（二）

テーラー氏が此等の新た賃金支拂法の欠點を改むる意味に於て一八九五年に或出來高制度と云ふ論文を書いて新た賃金支拂方法を主張したる事に依つて科學的管理法の基礎が置かれたのである

其後テーラー氏は一九〇三年に「工場管理」及び一九一一年に「科學的管理法の原則」等の書を著はして此組織を完成して居る

テーラー氏は此制度に依つて勞働者の能力が完全に發揮せられて生產額を增大し勞働者は自已の努力に應じて賃金を多く得らるゝが故に滿足するのみならず企業者も亦生產額の增加勞働能率の增進冗費の節減に依つて利益を得るものなりとし企業者勞働者が此賃金支拂に依つて初めて協同の利益を感ずるが故に科學的管理法に依れば企業の內部に於て勞働者と資本家との敵對の觀念を抱かしめず寧ろ進んで協調的の觀念を抱かしめるものであつて產業にとつても又企業者勞働者にとつても幸福な結果を齎し且勞働問題を解決するに足るものであると稱してゐる

テーラー氏は現在の賃金支拂に對して次の如き欠點を認めてゐる

一、時間拂制度に於ては勞働者は勤勉に働く事に依つて何等特別の利益を受く可きものでないと考へる

二、出來高拂に於ても勞働者は賃金切下げを恐れて生產額を制限する故に殆んど同一の弊害は生ずる

此の故に氏は通常の出來高制度を改良し根本的賃金切り下げの弊を除かんとするものである

氏は管理者にして勞働者が全力を盡して一仕事を仕上げるのに幾何の時間を要するものであるかを正確に知る事を得れば賃金切下を行ふ必要がなくなると考へた

管理者は此の方法に依つて先づ適當な賃金率を定め勞働者が適當な賃金を得る爲めには一日中全力を以つてはたらく事を要するやうにすることが出來る　次に適當な收入を得る爲めには

各人が其の全力を盡さねばならぬのであるから斯くの如き賃金支拂方法に依れば勞働者が如何に努力して收入を增すも過度に賃金を支拂つたと云ふ結果にはならぬと云つてゐる　此の考へに基いて氏は一つの賃金の基礎を計算する爲めに一つの仕事を成就する事を得る最大の速力を科學的に決定せんとした　此標準を發見する方法を基礎賃金率決定の項目に說いて居る後に之を時間研究と稱した

基礎時間研究

或る仕事をなすに必要な時間を科學的に精確に研究せんとするのであつて先づ一つの仕事を勞働者と機械との双方の各種の基礎的動作に解剖し之を順次に行つて一つの仕事を完成するやうにするのである　要するに時間研究の要領は

一、一つの仕事を單純な要素に分解する事

二、各要素につきてストツプ・ウオツチを用ひて勞働者が之を行ふに要する分秒を記錄する事

三、此等の基礎時間を合計して總時間を算出する事

四、之に休息及び其他の必要なる遲延に要する時間を附加する事

斯くの如くして其の仕事に要する標準時間を全体としての推定に依り予解的的に正確に研究するのである

此時間研究は頗る繁雜であり且經費を要する如く考へらるゝが比較的簡單である

其理由は或仕事を解剖して得た要素は他の仕事の內にある類似の要素と比較し得る故である　時間研究者は工場の幾何かの仕事を其要素に解剖するときは其の總てを比較的少數の基礎動作に纏める事が出來る

斯くの如く其工場に入り來る仕事の時間的研究をなし置けば新らしい仕事の入り來つた時には單に其の動作の解剖のみをすればよいのであつて既存の記錄に依り其仕事の各動作に要する時間を寫し取り此單位を合計し更に休息其他遲延の時間を加ふれば其仕事の基礎時間が得られる　ガント氏は或期間に其の工場に入り來つた仕事の九二%は單に從來のけん究材料より基礎時間を知り得て全く新な時間けん究をなす必要がなかつた事を述べてゐる

時間けん究の利益は右の如く賃金率の決定を簡單にし且出來高拂を繰返しのない仕事に及ぼし得るに止まらず更に大なる利益は仕事に要する正確なる時間が知られ得る事である　斯くの如くして勞働者は正直にはたらく單に見かけのよい動作或は無器用な動作を消滅せしめ正確に賃金の基礎を定める事が出來る

差別的出來高拂

時間けん究にて仕事の最大速力を發見した時はらうどう者をして此の最大速力に依つてらうどうせしむる方法を講ぜねばならぬ　其の方法は即ち差別的出來高拂ひである　之は生產額の小さい時には一個に付き低き賃金率を支拂ひ生產額の多いときには高い賃金標準を用ふるのである　此の方法に依れば出來高增加して各製品の負担する間接費の割當額が減少する故賃金率は增加すれども結局製品の原價を低下し得る結果となるのである　勿論標準能率及び之に對する標準賃金率を定める事は右の如く嚴重なる時間けん究をせねばならぬ而して標準生產をなさゞるものに對しては幾分賃金を引下げるのである　要するに右二個の方法に依つて科學的管理法を行へば

一、賃金切下げの爲めらうどう者が生產を制限する弊を防ぎ

二、差別的出來高拂に依り生產を最大限に增加し

三、らうどう者の賃金收入を增加せしめる利益がある

差別的出來高拂は間接費の直接費に對する割合の大なる工場即ち所謂一定的經費の割合に大なる工場に於ては特に有効である

此方法に依れば出來高の增加する事は明であるが　間接費は生產額の大小如何に拘らず殆んど變化なき故結局個々製品に對する間接費の原價を低くする事が出來る

テーラー氏が其論文を發表した時には彼自身は時間けん究の方法を重視して別に拘らず出來高拂に興味を持つた　其後差別的出來高拂以外の賃金支拂方法も考へられるやうになり　ちん金支拂方法の如何は第二次の問題と考へられ　今や科學的管理法の眞髓は時間けん究にありとせらるゝに至つた

落葉籠

▲プラ拓のバストス移住地前地主の測量費の問題から亦しもゴタ〳〵を起して居る正にゴタ〳〵一手引受所の觀があるよくも續々と連發的に事件が起れば起るものだ

▲一週間百キロ內外の海の魚をわざ〳〵サンパウロから搬そうさしてまたゝく間に賣れると云ふからバストス移住地の資源さ加減は推量出來る之れではいくら日本金の價値があると云つても開拓者の資格はゼロ

▲總領事が北パラナに行く惡らく領事館關係で北パラナの視察と觸れ出して出掛けるのは今度が始めてかも知れぬ何れにせよ北パラナじ代だ　北西線にソロカバナ線へと移つた勢力は今は北パラナへだ

▲もう上げる上げるでなかなか御興を上げぬのがパウルーの濱口領事　此のカンピオじや立てませぬわい

▲珈琲は去年は霜に惱まされ今年は採收期に雨にたゝられて居る　アグアブランカの展覽會は精選品生產の必要を高調してゐるカフエーを燒棄する黑い煙はラツパの丘に上つて居る

海濱の
ホテル
成功館
大阪商船會社切符取次
古謝將義
サントス セナドール フェージョ 三二二
電話 二〇〇八

Bàncô Especie De Yokohama Ltda.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd,)
Rua da Candelaria NQ. 23
Caixa postal, 380—Rio de Janeiro
切り取つて手紙の表にはられたし
鄕里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取る當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本內地郵便爲替料書留料其他總て當店にて負擔致し即ち全く無手數料にて鄕里の受取人へ御送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶橫濱正金銀行勘定として
Banco Commercial do Estado de São Paulo
又は御便宜の方は
Banco Noroeste do Estado de São paulo
へ御拂込被下候でも差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下され度候
預金
伯貨定期預金
日本定期預金
分二厘
伯貨當座預金（小口）
年二分
當分取扱不申
預金可致候
送金御不用
紙幣は御求次第
御指定相成候
申込候
御送付可申上候
御便宜に有之候
預下度
御送金の通帳は
御希望の點は
直に御送付
御問合せ
御留寄
御郵便
御郵便
御廻送
最寄の郵便局
橫濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

醫師 山田隆次
聖市コンデデサルゼーダス二〇
電話 二一二六八八

醫學博士
高岡專太郎
聖市コレゼルヒーノ街四五
電話 二一四〇七五

Y. Kinjô
Ciruirgão Denlista
Av. Condessa São Joaquim 26
Telephone 7-3384 São Paulo
齒科醫
金城山戶
聖市コンデツサ サンジヨアキン街二六番
電話 七一三三八四番

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIO
praça Mauá, 25 — Caixa postal. 911
Telephone, 2837 — Endereço Telegraphico "TOZAN"
SANTOS
サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミヅカミ・イ・コンパニア
郵函 九一一號
電話 二八三七號
電信略號「TOZAN」
弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

風教上の痛恨事

内山總領事の輕擧

菊池圓平をアラサツーバ地方醫局主任に起用す

レヂストロのラスプーチン事件として同胞社會にうたはれたドトール菊地圓平はすつかり社會的に葬られてサントスに世をしのび殊勝氣な顏して廣い世間を肩身のせまい思ひをして暮して居つた

レヂストロをかき廻した野心家 絶ゑ間なく女の事で噂のたねをまいた一枚看板のドトールも深酷なる社會的刺戟の下には小さくならざるを得なかつた 彼は一ケ月一度の賴母子講の盛らるゝ夕だけは凡てを忘れて同胞社會の一人として憂鬱を感じなかつたと云ふ位に彼の生活はさびしいものであつた 彼の昔を知る人は彼のあの傲慢な態度が何時になれば地金をだすだらうかと噂し合つてをつた 然し凡べては自分のまいた種子の收獲を自分で刈りとる外はない 彼はサントス小學校生徒の身体檢査を無料でやりたいと申出た 日本人會員の無料診察もやらせてくれと申出たこと事もあつた 然しサントス日會の純良分子硬骨派は世間の思惑も考へ且つは社會に對する公共團体の責任として此等の申出をはねつけ決して菊地圓平を團体が承認する事を敢てしなかつた

彼がサンタカーザに毎日出て宅診をはじめてから二重三重の手間と幾多の情實をかもす事から色々の批難もあつた 斯くして二年の月日が暮れた 優臺華の花は內山總領事の一枚の指令書で咲いた

同仁會は地方醫局の管理をしたドトール菊地圓平はすつかり指彈されてをつた 三つ兒の魂はなか〳〵ぬけなかつた 決して彼には改悔の狀をの指令書は理事長白鳥堯助氏の殊勝さは要するにパンを得る手段にすぎなかつたのだ

たま〳〵今度武田義信氏が伯國開業免狀を獲得したについてサントス地方醫局再開の請願を自分で刈りとる外はない 彼はサントス小學校生徒の身体檢査を無料でやりたいと申出た 日本人會員の無料診察もやらせてくれと申出たんまと菊地の祭り込に成功した 此の內議は一月頃から交渉されてをつたもので內山南條の外催か一、二の人が關係して氏は之れ迄外人醫師を隨分步建設基金へ繰入るゝ事にしたが捗々しい奏効を見ず近頃聞くからにすが〳〵しいので最后に高岡博士を信事である

醫局からたゝき出した責任者として廓清の大鉈をふつた當人の白鳥氏は代行機關の同仁會の理事長としてこれを諸々唯々受けるだらうか

內山總領事の輕擧は正に白鳥氏の社會的名譽に自殺を强ゆるやうなものである 同仁會幹部にも硬骨の士もある 果して內山總領事の思ふツボにはまつて事が易々と運び官憲の力によつて同胞社會の風敎がわけもなく踏みにじらるゝものだらうか 地元アラサツーバが菊地を受けいるるや否や この事件は正に邦人社會の道德率のバロメーターである

私達の學校

ソロカバナ線プ・ルデルテンテ

第二小學校 三年生

濱田正美

私達の學校はソロカバナ線プ・ルデルテンテから八キロメートルの所に有る昭生植民地內にあります。學校の名はプレシデンテプルデンテ第二小學校といつて昨年の十二月から始まりました。今はブラジル語と日本語とならつて居ります。先生は二人でブラジル語の先生と日本語の先生です。生徒は日本人とブラジル人とあはせて五十人から居ます。今日も遠いコロニヤから二人の日本人がはいつて來ました。學校の始まるのは九時からで三時に終ります九時から十二時までブラジル語でそれから日本語をならいます。

（原文のまゝ）

養蠶の敵

きよう蛆の習性に新發見

奉蠶業に莫大な被害を與へるきようそは各縣とも年々最高二百萬乃至三四十萬圓の被害があり之れが驅除は養蠶家及び指導當局の苦心するところであるが 今回從來斯界の最高權威である東京帝大の佐藤博士に依つて一般に知らるゝに非常な相違のあることが發見されて居た「きようその習性」は今後の驅除方法に大きな變化を與へるに至つたが從來きようそは地下一尺位のところに暖寒を避けて越夏冬し毎年四月中旬頃より蛹となり羽化して發生するもので地下以外に生存出來ないものとなつてゐたが 今回立川在昭和村の養蠶家及び立川町の蠶業取締支所標本室內で床上に夏冬を越したきようそ蠅が數匹發生した事が發見された この結果床下のコンクリート裝置がいつ入達の間には新敎の進入は拒めないだらうと思へるし、從つて日曜學校も段々隆盛になつて行くではないでせうか」云々

生徒數十七萬、敎師二萬とは云ふ概數です。年々發展の狀勢にあり未だ昨年から一萬の增加です。ブラジルの日曜學校運動は要するにブラジルの新敎運動と同一の問題ですが、何と云つても之れからは新しい入達の間には新敎の進入は拒めないだらうと思へるし、從つて日曜學校も段々隆盛になつて行くではないでせうか」云々

ひる

養殖が目來よう

最近千葉靜岡あたりの農家から農林省副業課に血吸蛭の養殖方法問合せが盛んに來てゐるが蛭の養殖はまだ全國に例がないので問課では近く滋賀縣の水産試驗場に依託して養殖方法を研究させる事となる模樣である 蛭は千葉縣では一匹三錢位で賣買されてゐるので養殖が容易に出來る事となれば農家の副業としては相當有利なものとなるわけである

サンタ・カーザの施療患者入院制限さる

▼——此後は極貧者のみ收容する

サンパウロのサンタ・カーザ施療患者の收容力は六百人位と云つたが 從つて從來の如く容易に入院する事は困難となつた譯である 此の結果不幸な同胞病人の治療機關が塞がつた形となり 勢から市衛生部會議の結果今後は極貧者に限して 愈々こうなれば日本病院建設の必要が痛感されて來る

下江勇造氏の美擧

同仁會健康診療室に通つて固疾快治し 禮心に寄附金をなす

ドアルチーナ在住の下江勇造氏は之れを日本病院建設基金へ繰入るゝ事にしたき廻つたが捗々しい奏効を見ず近頃聞くからにすが〳〵しいので最后に高岡博士を信事である

聖市郊外の種痘

同仁會では聖市郊外在住者の便宜をはかり左の日取りで衛生講話及びトラホーム撿診種痘の爲め高岡博士出張する事となつた

十日 中央線モデー

十七日 タポン

世界日曜學校大會

——リオに於て廿五日より開催——

日本代表は安村氏外二人

去る七月二日サントス入港のモンテビデオ丸にて渡伯の日本日曜學校協會總主事安村三郎氏は在伯新敎徒の歡迎を受けてサンパウロ敎會に落付いた 其の後每日の如く方々より講演、禮拜等の依賴を受け席の温まる暇もなく活動を續けてゐる

記者はサンパウロ敎會に氏を訪へば 偉大なる体軀の持主は温容に元氣な笑を浮べ乍ら語る

リオデジヤネーロの世界日曜學校大會は七月廿五日から三十日迄六日間に亘つて開催される筈ですが まだ少し期日迄に余裕がありますので邦人發展の中心地ゼ村の人でアバイ方面で棉作を居つたが矢野淺太らしてのお世話で平野植民地に入つたが 前に治作しを養しに貰ひ受けたのであつた

治作しは山口縣玖珂郡北河內園主なることを知つてゐるのルケールス二萬數千本の珈琲の人で渡航の上は大威張して暮せるものと大きな想を描き廿村の人でアバイ方面で棉作を居つたが矢野淺太らしてのお世話で平野植民地に入つ

パウリスタノの悲壯なる叫び

憲政復歸要求の爲め最後の決心を固めて起つ

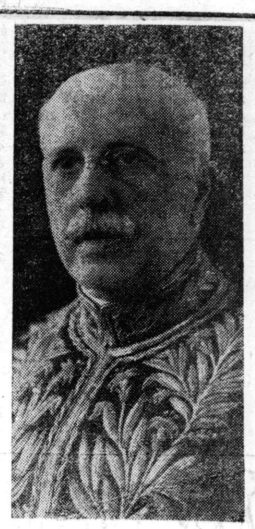
一九三〇年十月　全國民の絶大の信望を負つて起ちリオ大統領の肚の中を一般民革命の大業を遂げ臨時政府を組織し其の首はんとして全ブラジルに君臨するゼツリオ　ヴァルガス氏も　革命左翼派と自由派との主張を容るゝ事困難なる事態に遂着し遂には南大河州出身の勞働大臣、司法大臣、警視總監の連袂辭職を見るに至つた　即ちマウリシオ法相は憲政の即時克復を期して南大河州及全伯國の輿望を荷て重任に就いた　然るに去る三月リオに於ける聯邦陸軍人の「ヂアリオ　カリオカ」社襲撃事件に關聯して三巨頭の辭表提出を見るに至り　此三者の南下はリオグランデ州のフレンテウニカを刺戟して憲政の即時克復を大統領に迫るに至つた　之の建言に對してゼツリオ大統領は明年五月代議員選擧を行ふ可き事を聲明したが其後ずる〳〵と今日に及んだ

空椅子のまゝの法相勞相農相を大統領は意に介せざるものの如く後任者の選衝も實現せず　茲に於て南大河州はサンパウロ及びミナスのフレンテウニカと提携レジョン　ネーヴエス氏を選んで臨時政府と折衝せしめた

大統領はそれでも何れとも決意を見せず三大州の提議を無視した情態となつたのでサンパウロ及びリオグランデではミナスの調停も空しく遂に臨時政府との交渉を打ち切つてしまつた

聖州は之れ迄の幾度かの熱望を遂に達して五月二十三日州民を士台とした州政府の組織をなすに至り愈々聯邦政府の神經を益々いらだゝせてしまつた

次でレイテ・デ・カストロ陸相の辭任を見たが其の後を革命左翼派の推擧せるカルドーソ將軍が襲つたので愈々ゼツリオ陸相はクリンゼル將軍の退役を命じた　同將軍は憲政克復運動の立者なる關係から俄然此の處置は聖州民の反感と憤激を買ひ遂に茲に最後の決心を固めてパウリスタノは愈々起つた



聖州統領
ペードロ・デ・トレード大使

イジドロ將軍を總師に　クリンゼン將軍を副師に仰いで

運動の烽火を擧ぐ

七日マ州聯邦陸軍司令官ベルトルドクリンゼル將軍の発官運動の烽火を擧ぐるに至つた　一九二四年の革命以來聖州人の戰傷はるや聖州は同將軍に深い緣故と親しみを持つイジドロ將軍を總師に推しクリンゼン將軍を副師に　新第二軍團長エウクリデス大佐及州警兵隊司令官サルガード大佐等を基幹として茲に本運動は白熱火した

聖州政府成る

ペードロ・デ・トレード氏を統領に推戴す

十日サンパウロ州執政官を辭したペードロ　デ　トレード氏は全市民及軍隊の衆望をうけて聖州政府の統領に就く事となり儀杖兵に衛られて此紀念す可き十日午後三時州政廳に於て萬歳の内閣の閣僚全部を留任せしむる第一の法令を發して之に新統領は州民を基本とする前途の平穏秩序よく保たれたゞ義勇兵募集の戰時氣分と軍需品の搬送に雜踏してゐる位である

示し茲に聖州一致完全にサンパウロ州は先づ憲政克復運動の火蓋を切つた

聖州の各政黨政派は凡べての感情を捨て各階級が期せずしてパウリスタノの血を沸かし本運動に贊襄したので州内は

聖州境へ急ぐ陸兵

非常警備狀態に變つた　戰雲しゼツリオ大統領の信任厚事歸聖した

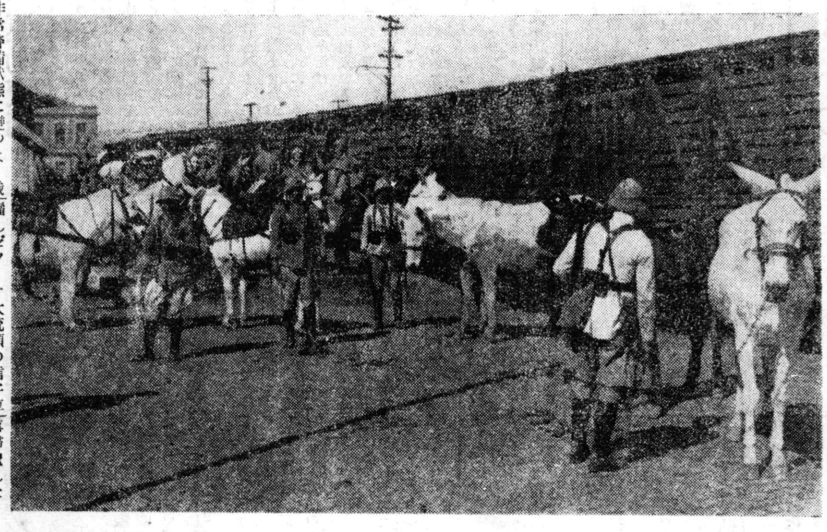
時武裝の一隊が繰り込んでいる第二軍團長ゴーエス　モンテイロ將軍は先月第一軍團長を加へ市民の顔には堅い覺悟の色が深くなつて來た

來る　もう街は異狀の緊張に轉任したのは周知の通りだが十一日某所に達した情報を綜合すれば憲政克復運動に加つて起つ意嚮らしい

神速の準備成り先鋒は已に中央線クルゼイロシに到着し州境を固めてゐる　大都除はグラチンゲターに此方面の聖星月夜のサンパウロの街は突如何となく異狀の空氣がたゞよつて來た　自動車の警笛は急にけたゝましく右往左往し出した　廣場の人影は次第に增して重大事件の勃發が豫感されて來た

ラルゴ・サンフランシスコの法科大學は夜の十時表門をさつと開いた　おう〳〵たる電燈に照らされた廣間の學生の顏はいやが上にも緊張してゐる　貨物自動車は寢台を運び込む　食糧品を滿載して來る　武裝した學生は表通を警戒して群集を一歩も寄せつけない

聯邦軍司令部前はすつかり



ゴーエス將軍も起つか

三〇年革命の參謀長として活躍

飛行家盛に活動す

飛行家モウロンオリヴエイラ氏は十一日確かなる筋よりの報道に依れば南大河州のフレンテウニカ單身愛機を飛ばしてリオシの巨頭ジオヨン　ネーヴエスに飛翔し上空氏は目下臨時政府の目を逃れてゐる所に逃避してゐる　斯よりサンパウロの新聞及びビラを撒き無ロの新聞及びビラを撒き無

的な提携をサンパウロ州民と盟ひ熱烈なる聲援を與へつゝある

ネーベス氏聲援をなす

＝七月九日

鐵道・電信電話の管理

九日の夜より十二日午前中迄郵便局を管理して閉鎖し電信電話も絶たれて居つたが鐵道は十一日より開通し郵便局も十二日午後から開いた　通行許可証も十一日から解除するなど凡べて平日同樣の狀態に復した

トレスパラス拓殖

パラナ移住地分讓

珈琲植付制限なし　標高高く霜害なし

輝より十一粁　土地代一アルケール　無利子五五〇ミル

五ヶ年賦　五分ノ一宛　一時拂　割引

不在地主も歓迎　分讓及開拓面積自由

宿泊所開設　收容所　學校　病院　設備

汽車賃　自動車賃　往復　ジヤタイ移住地往復　移住地滯在宿料二日分　御視察の方に對し當組合負担

入植決定の方に限り　往復　當組合負担

オーリンニョス驛に案内者岩倉雀之助氏が出迎へ致します

各地代理人

A 水谷熊次 Est. Cerqueira Cezar L. Sorocabana
B 由中龍介 Est. Cafélandia L. Noroeste
C 高橋信四郎 Est. Frigorifico L. Paulista
E 萱森彌之次 Est. Catanduva L. Araraquara
F Francisco Cordeiro Est. Villa Jatahy - L. São Paulo-Paraná
G 臼井介仁 Est. Bandeirantes - L. São Paulo-Paraná
H 西川喜諾 Est. Promissão - L. Noroeste
I 澤尾磯七 Est. Bauru' L. Noroeste

トレスパラス移住地事務所
C.P.T.B. Villa Jatahy - S. P. - Paraná
有限責任ブラジル拓植組合
Caixa, 2975 — São Paulo
（御照會は最寄りに）

告示

當國より歸國し再渡航を希望するものにして歸國に際し、再渡航證明書を所持せざる爲め旅券下附乃至在本邦伯國領事の旅券査證に際し不悞不便ある趣に付、今後再渡航希望者は所管領事館の再渡航證明書携帶歸國せられたし

右告示す

昭和七年七月拾一日
在サンパウロ
日本總領事館

和・支・洋・料理
櫻井庫藏
（何時でも御注文に應じます）
マリリヤ市

飜譯と法律事務
辯護士　カルロスデモラエスアンドラーデ
辯護士　ジョアキンシルバヅートラ
聖市ヂレイタ街七番三階
公證飜譯人　杉山英雄　Caixa 975

木村洋服店
聖市オンゼイド街五一番二階（渡邊銃器店並び）
電話　二一二四二三呼出

CASA TOGO
サン・ビセンテ建設紀念博覽會一等賞金牌受領
家具製造販賣
中山伴一郎
聖市ルア・グリセオ一六二
電話　七一四四七〇番

伯國北大醫學士
今田求
リンス裁判所前

謹告

今般左記の如く當アルヴアレス・マシヤード町に於て農業者本位の株式會社創立致し候間此段謹告仕り候也

一、有限責任
アルヴアレスマシヤード産業株式會社

二、資本金
壹百五拾コントス

三、事業ハ當分
珈琲精選工場經營、倉庫業農産物委托販賣、農業者必需品の共同購入、農具諸機械の取次

役員
取締役社長　板東　喜内
専務取締役　井手菊太郎
取締役第一會計　井タニ藤吉
〃　第二會計　桑原　一馬
〃　取締役　二見　李次
〃　〃　勝谷　遠平
〃　〃　立石吉三郎
〃　〃　横尾　佐一
〃　監査役　石部　和平
〃　〃　渡邊　春治
〃　〃　本多　修
〃　〃　横尾　仙一
〃　〃　末澤喜三次
〃　〃　芦浦　武
〃　〃　嶋崎大四ロウ
〃　〃　井出磯太郎
〃　〃　石井宇三ロウ
〃　支配人　横尾　盛行

株主氏名
桑原　一馬　横尾　佐一　井手　豊一　立石吉三郎　和泉　房吉　二見　李次　勝谷　遠平　末澤喜三次　本多　修　菅野　興一　渡邊　春治　芦浦　武　吉原　長吉　郷原　房吉　石部　和市　井タニ藤吉　板東　喜内　三宅　敏雄　桑原　一二　横尾　仙一　長野榮次郎　柳　幸次　矢野　市平　島田喜代太郎　陶山　秋一　中村　安藏　加治彦太郎　芦浦　秀夫　小ガサ原クマエ　齊田　眞一　山福　榮一　長井　安吉　中松　富藏　市瀬　義介　松岡球磨喜　石田　好信　藤原坂次郎　杉島　爲藏　上地　寛吉　井手　十藏　平田　茂一　前だ　泉　北原　充　檜作三太郎　ひ作　卯一　矢野　滿　市瀬　甚七　中障子鐵雄　齊藤市太ロウ　香西　米藏　村本　一　鬼松好太ロウ　赤司　一行　井タニ藤吉　伊藤　秀雄　杉本牧太ロウ　前だ藤イチ　中村　與市　平川　寛太　段野清五ロウ　黒松　弘　植松梅太ロウ　武だ　正巳　伊藤龍太ロウ　石橋　豐富　門脇　榮　加來　與嚴　長た光九ロウ　長た光きち　竹島　秀吉　佐藤庄きち　本多　修　石橋淺次ロウ　齊藤　欣之　末澤喜三次　小がさ原洲馬　淺妻　茂　芦浦　武　嶋崎大四ロウ　山下　竹作　井出磯太郎　石井宇三ロウ　内野　正彦　横尾　盛行　柳屋　勳　平岡　樋一　岩瀬源三ロウ　齊藤　馨　稲葉　半藏

J. YONAMINE
Moreira Veicas & Cia
Estação Itariry Linha Santos - Juquia
◉精米所の女王は、、、、
◉白米の美麗は、、、、
◉一等米の出る割合は、、、、
ほんとうに當精米所に限ります
代理人
與那嶺仁五郎

醫學士
齊藤等
バウルー
電話二六九

公認技師
小林弘一郎
電氣事業及測量土木建築工事一般計畫設計監督請負
聖市セナドール フエジオ二七番八階
電話　二一五四八〇番

大阪商船會社指定切符取扱所

聖市旅館同業組合
上地　ポニータ一一　上地彌造　電話二一一九二一　郵函一二二五
小川　コンセレイロフルタド一六　小川源右衛門　電話二一四四七六
大和　コンセレイロフルタド二　坊迫健藏
旭　コンデドビニヤール二二　秋田粂三郎　電話二一一七八二
東京館　マウア街二九一　仲村渠三郎
末廣　コンデドビニヤール一C　中山忠太郎　電話二一五六三八
常盤　コンデサルゼーダス四一　石原桂造　電話二一三六九〇

同仁會トラホーム撲滅宣傳

映畫 闇よりの光

呪はれた眼は一日増しに重くなつて　あの元氣な少年であつた金雄はいつか憂鬱な子になつてゐた　遊び相手もなく運動場の一隅に淋しく立つ折柄近づいた受持教師は

毎日トラホームを治しに眼醫者に通つてゐますか

眼が悪くなると學課の成績も悪くなるばかりですよと注意をする　金雄は教師に吾が家の事を訴へる事も出來ず治療に通つてゐると心ならずも偽りの答へをした。然しそれは少年の心を暗くした。小さい胸も師を欺むいた良心に自責を感じてその眼からは悲しき涙が落ちてゆく。

鶴子の眼も次第に悪くなつてゆく。吾が子の眼の病を母親として心をいため一日も早く治さんと思ふが然しそれは余りに無智な母親の考へであつた。今もある怪しい祈禱所を訪ねて行者に眼病全快を祝るのであつた。おはらひをすませた行者は怪しげなビンの水を示して云ふ

この水をいたゞいて一切の慾を離れてお信仰になれば眼などすぐ治りませ

母子はその言葉を有難く信じるのである。然し眼は悪くなるばかりであつた。

吾が家に戻つたお龜と鶴子は祈禱所からいたゞいて來た水を唯一の藥として重い眼病の素人療治をしてゐる。されど如何に神佛に祈るとは云へそつの重症のトラホームを唯の水を以て眼を浸した位で全快する道理は決してない。否その結果は反つて益々病氣を悪性に導くばかりである。流石に娘の鶴子はふとある豫感を感じた。思へば淋しき溜息は吾れ知らず漏らされる。お龜は娘を慰めて云ふ

御利益が現はれないのは御信心が足りないからですよ

それは余りに無智な言葉であつた。學校から歸つて來た金雄は母親に眼の痛みを訴へ始めた。子供は正直である。そんなものは嫌だと斥けて應じない

お水が駄やならば賣藥でもつけておなさい

金雄は子供ながらに心なき母親の言葉に腹立たしくなり駄々をこねて遂て母親の有難がるお水を足蹴にした。その騒ぎに奥の座敷にゐた主人の頑吉は

喧ましい

と叱つた。父親の頑迷、母親も出來たから婚禮の日取りを決める相談に來て下さいと云ふ。成田は少しくたらめきつゝも

結婚は一生一度の大切なものです　鶴子さんの眼が全快する迄延期しませう

と云つだ。その言葉にお龜は不滿な態度を示して鶴子を連れて成田と別れた

さて大正館の奥座敷では主人頑吉が長男次男の兄弟を前にして叱言を云つてゐる

二人とも何のざまだ　不合格や落第なんて俺の名譽を汚す奴だ　トラホームなんぞは眼をこすつて擦り消！

頑迷な父親の勝手な叱言に兄弟は恐縮するばかりである

戻つて來たお龜は夫頑吉に語る

今、成田さんに逢ひましたら、鶴子の目を見て急に婚禮の日を延期すると云ひましたよ

折も折、頑吉は最前からの不機嫌がその女房の一言に一度に爆發した

よし　成田に直接談判してやる

頑吉は怒つて出かけるのであつた

成田の應接間を訪れた頑吉は鶴子の件について成田にしきりに談じた

そんなことで大切な娘の婚禮を延ばされては世間に面目ない

成田はなだめつ靜かに答へた

大切な娘さんの目は尚更大切ですから

そして熱心に醫療をすゝめるそれには耳を貸さぬ頑吉、苛しく立腹して怒鳴つた

よし　それ程　鶴子が厭ならわしの方から破談する

無性に立腹して荒々しく席を去る頑吉を成田は留める言葉も出ず意外に呆れて見送るのであつた。

—（續く）—

小鳥のさへづり

戀の唱歌

無數の小鳥の囀りを聞く毎にキ鳥が卵を破つて生れると忽如何にも彼等の生活が樂しさうに感じられる。然しあれは樂しいから唄ふと云ふよりも雄が雌を魅惑し求愛する爲めの戀の唱歌である。この求愛の時代に於ていたづらつ兒の雌が卵をみんな巣の中へ孵へすまでは纖續するのであるが雌を孵化してしまへば歌はパツタリやんでしまひます。

サヨナキドリの例を挙げて見ますと數週日に亘る巣の建設期間は雄は妙なる歌をうたつて配偶と人間を樂しませるのですが、小さなサヨナ

練習は白熱火された。從つて好記録も續々と現れ當日の盛觀今から期待されてゐる

三日カフエランヂアに於ける豫選大會の記録は

百米　一一秒九　藤澤
二百　二五秒五分ノ四　藤澤
四百　五七秒　畑田

汎北西線陸上競技大會迫る

強者カフエランヂア豫選大會

七月三十日ー　その日こそはビリグキ原頭に汎北西線陸上競技大會の幕が切り落される日である。此日榮冠を目ざして參加するものはカフエランヂア、リンス、ビリグキ、ペンナポリス、アリアンサ、チエテ等で秘策を凝して火の出る様な猛練習が續けられて來たが七月に入つてからは俄然

八百　二分二五秒　木本
千五百　五分　小野
五千　一八分四九秒川合
棒高跳二米八〇　平岡
砲丸投一〇米七三　毎野
圓盤投三〇米五四　毎野

豫選當日は一流選手の二、三人出場しなかつたから晴れの舞台にはもつと〳〵好成績を示すものと見られてゐる

果して本年も光榮の優勝旗はカフエランヂア軍が保留するであらうか　或は强豪リンス又はペンナポリスの手に奪還されるであらうか　又地元ビリグキの手に收められるであらうか　新鋭チエテ、アリアンサ等が此間に如何なる腕の冴へを見するだらうか

今や全ノロエステの若き血潮は爭覇戰の上に注がれてゐるかの如くである。

青年會應援歌（六）

カフエーランヂア應援歌

アンヂス山頂雲高し
アマゾン河上水廣し
見よ大自然を吞吐する
雄叫び高きペンナの野

滿身の勇氣に臨れ
牌肉の獻に奮ひ立ち
騎虎當千の健兒團
奮はん秋は今なるぞ

競技の雌雄を決せんと
こゝに屯す我が軍の
踏破凄しし陣容に
万丈の意氣天を衝く

Cのマーク勇ましく
凱歌の聲は青嵐の
そよぎに颯く旗風に
意氣軒昂のカフエーランヂア軍

孫吳の兵の容をとり
陣をチラブのハイに擬し　フレー　カフエランヂア
龍攘虎擊の腕を撫す　フレー　フレー
こゝ中原の爭覇戰

棉作地便り

今年の棉作者の鼻息の荒さ加減たら珈琲地帶に見られぬ景氣である　目下相場は十二ミル台を稱へて居るから棉作者もとれて愈々有卦に入つた

アバレーの奥四十キロに二百アルケールスの土地を買つた者がある　斯くして倩理農場に相場のきまつたやうな棉作者に土地持が增加していくのは喜ばしい事である

バウルーを中心に獨立農百二三十家族讀負耘堵七、八十家族が棉を主作して居るが今年は十五万アローバの收穫を擧げ二千コントスの金を握つたと云ふから豪勢なものだ　養蠶も好調子に行き一家族十八萬み遠くマウトグロソ州迄も販路を開拓して居る我邦覇宗のものもあつたとはまるでうそのやうな話である　八月頃迄にはドン〳〵入り込み三百家族位はバウルーを中心に邦人が增加するだらうと

マリリア農產品評會

マリリア青年會主催にて七月中に開催の筈だつた農產品評會は愈々八月十九、廿、廿一日の三日間を期して華々しく開場する事になつた

宮城縣出身者數

リベロンプレート領事館管内

	男	女	計
家長	一四三	一	一四四
家族	三四五	六二六	三七七〇
合計	四二四	三四六	七七〇

（六月卅日現在）

アリアンサ中學 建設の機運進む

幾度もアリアンサ植民地に中等學校建設の噂は流布されたが聖公會で宗教中心の中等學校を開きたい意向があるので或は此方面からの資金で明年あたりは實現するらしい

ミカド製麵所

リンスに於て手廣く製麵業を營み遠くマウトグロソ州迄も販路を開拓して居る我邦覇宗輔氏とサントス成功館主人古野中正氏との共同經營の下に今度サンパウロ市ルア・ビネロス一四三にミカド製麵所を開業した　純日本式素麵及びウドンの製造に主力を注ぎ我邦覇が多年の經驗の腕前を見せサンパウロ市の唯一の日本式製麵所としての眞價を發揮する事となつた　營業方面は宮平市助氏が專ら担當する

クスリは 日本藥局

聖市タバチンゲーラ街二
電話　二一　六七四五

陸相支那人をへこます

「米が足らなければ粥を食ふと」

或る支那の有力者が荒木陸相を訪ねて日本は食糧問題から支那に對する對日心があるんではないかと素直に聞くと　陸相は昂然として曰く

日本人は米を食ふが米が足らなければお粥にし　お粥が足らなければ重湯にして食糧は自國で解決するいづくんぞ支那を要せんやと一言で撃退した

湘南の大旋風

湘南茅ケ崎町一帶に六月廿五日午前一時頃突如大旋風起り十余戸の人家其他を破壞し又沖合に落雷あり大龍卷を起し陸地を襲ひ海岸の私立家庭學校の寄宿舎一棟作業教室一棟

由比ヶ浜花節と講談の夕

七日夜聖市旭旅館で雲春の浪花節伯三の講談花枝の小唄があり一夕を母國情趣にひたる

長岡市から 裝甲自動車獻納

新潟縣長岡市では一万三千圓を獻納し裝甲自動車の製作に決し石川島製作所で製作完成したので七月三日長岡市で報國第一號と命名の上九日横須賀から上海へ送る精龍隅田型ピー型裝甲自動車六屯三百瓩全長五米六百八〇巾二米高さ二米八〇機關フノーレイ式時速四〇キロ

水曜會主催日本病院建設基金寄附者芳名（第八回發表）

サントス市在住者　二百ミル宛
南條榮　無名氏　無名氏
無名氏　無名氏
百ミル宛　金田宣雄　三吉文人
前田吉太郎　古謝將義
小淵友市　石神潔　無名氏
アンドラーデ　無名氏
原田高弐
無名氏　上原直勝
五十ミル宛　金城愼義　無名氏
竹中儀助　矢後直一
野中正　奥村政孟
奥村政孟　長尾ユウ典
十五ミル　仲村渠三郎
十ミル宛　近藤昇一　森口宇吉
新城清助　宮城長助
與座盛錄　藤田克巳　新垣新蒲
五ミル　赤嶺新野榮
アラ・クアラ線ガタンヂーバ市在住者
五十ミル宛　柿内直吉
三十ミル宛　桝田敏　井上愛
十五ミル　敷島虎作
二十ミル　高濱常八
吉　石川長藏
十五ミル　三谷金晴
三十ミル　湯川長
十ミル宛　田中恒藏
二郎
五ミル　河江登
五十ミル　豊森彌之次
十ミル　高瀨竹二郎
二ミル宛　河江璽水　南部武
五ミル　小見光儀
パウリスタ線ガタパラ驛パレスチーナ停場
三十ミル　牧平福松
十ミルあて　寺本心悅　竹本
茂　中塚安五郎
五ミルあて　伊藤眞造　鈴木義登　薄井善吉　大泉新之丞

モギアナ線フランシスコ・シユミツト驛バツソラール停場
十ミル宛　佐々木昇吉　森田彌市
五ミル宛　庄賀正記　廣瀨初藏

サンパウロ市　其他在住者
五十ミル宛　沖周一　勞友會
山田隆治
三十ミル　カシヨエイラ日本人倉
十五ミル宛　山塲太三郎　西尾幸平　隅元雜高　吉村文太郎　神谷朝三郎　稻嶺盛松
十ミル宛　高垣忠兵ヱ　服部秀吉　安田友次郎　岡上與三郎　渡邊謙一　河野清子　野村吉郎　檜垣並太郎　佐藤福車　中島三次郎
七ミル　重田義一
五ミル宛　北村秀一　石原城三郎　安田捨松　岡山友吉　坪井嘉造　今澄龍造　桂福吉　水谷眞三郎　長谷川榮吉　成富小十　盧屋省一　佐藤桂次　橋晉作　花本貞平　中川德一　中原長次　岡村常三郎　國吉眞良　玉那覇次郎　宮平松　比嘉丑吉　國吉午壯　新里樽　船木勝治　長嶺榮光　津波慶四郎　泉川慶四郎　神谷牛金城盛光　屋富祖次郎　屋富祖秀實　宮城ヅゼ　高良亀助
三ミル宛　高村正雄　伊藤晉次郎
二ミル　黒川　高村　園田　阪本　河村竹松（續く）

サンパウロ市
大河内藥化學研究所

FAZENDA PAGET
Estação joão Ramalho E. F. sorocabana
土地分讓
十アルケールを一區とし
三年賦拂無利子
▲耕地内には既に開墾開始中
日英兩植民ちあり
御用お方は日本文で直接耕地支配人宛御照會ありたし

CASA DA RAPOSA
M. Freitas & Cia
Praça da sé, 26
Tel. —2789　Caixa 333,
São Paulo
硝子鏡水晶
その他内外色紙　硝子製床板　硝子製屋根カワラ一式
ラポーザ硝子店

丁寧精潔を旨とし時節柄大勉强いたします
歸國手續其他
西田旅館
館主　西田泰子
聖市コンデサルゼーダス二一
中矢商店隣二軒目

御料理
富田家
聖市コンゼリエーロフダード街三七
電話　二一六七六七

農產物品評會並ニ講習會
一、期　日　昭和七年八月十九日より同月二十一日迄（三日間）
一、場　所　マリリア市パウリスタ延長線青年聯盟本部會館に於て
一、主　催　パウリスタ延長線青年聯盟
一、目　的　農產奬勵
一、範　圍　パウリスタ延長線内の農產物に限る
一、賞　品　勸業部の寄附による
一、出品者ノ資格　パウリスタ延長線在住日本人に限る
一、審　査　員　勸業部技師
一、出品者ノ注意
イ、鐵道便を以て出品せられる者はマリリア驛迄の運賃は出品者の負擔とす。當驛よりの運搬料は主催者の負擔とす。八月十五日迄に到着するやうに發送する事
ロ、出品物は返還せず但し特殊のものは此の限りにあらず。
ハ、珈琲、米、白米、フエジョン、マモナ、ミリヨ等凡て四キロ出品の事。玉蜀黍は八本（各種）以上の事。綿は二キロ以上の事。其他適宜
ニ、出品農產物たる以上は如何なるものにてもよし
ホ、野菜類に限り八月十八日午前中迄に本部へ到着するやう發送する事
ヘ、八月十九日二十日講習及實習のこと
ト、八月二十一日表彰式擧行
主催　パウリスタ延長線青年聯盟本部
各位

アリリア
米國最新式齒科醫院
島田正吉
ドトール　アゴスト　ベレンチ街